

東海労の抗議集会に介入 運転科長が不当労働行為

組合員のみなさん 国労・ユニオン組合員のみなさん

私たち東海労が開催した「不当再教育に抗議する集会」に対して、脇 運転科長が「丸家が東京駅に転勤になってから、抗議集会はおかしい」と、東海労組合員に発言していたことが判明した。明らかに、組合活動に介入する 不当労働行為 だ。

丸家さんに対する不当な「再教育」と、「合 否」を伝えないまま、強行した転勤に飽きたらず、不当労働行為を行うなど言語道断だ。脇 運転科長とそれを容認した松本 所長の責任を問う。

私たち東海労が明らかにし続けている「再教育」が安全を脅かし、停止手配を運転士に躊躇させるものだという事、それらの行為を幹鉄事をも巻き込んで所長以下、管理者が一体となって何とか ごまかそう としていることが運転科長をして不当労働行為を行うという狼狽ぶりに端的に出ている。丸家さんへの不当な「再教育」や人権無視を覆い隠すには、不当労働行為という不法で卑劣な手段しか考えつかないとは何と余裕のないことか。

狼狽の理由は明らかだ。自らが犯した、事の重大さを十分に披れきしてくれている。それは、新幹線地本発行の「かべ新聞」撤去にも現われている。この「かべ新聞」で、高塩 指導助役が行った人権無視の発言と、松本 所長の責任に対する東海労の考えを明らかにしているが、この内容がお気に召さないようだ。幹鉄事は、現場の判断だと言っている。この様なことが許されるはずがない。

運転科長の介入と掲示撤去という二重の不当労働行為を許さない
直ちに、発言と撤去通告を撤回するよう強く要求する